



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月6日

上場会社名 株式会社ヒラノテクシード 上場取引所 大
 コード番号 6245 URL <http://www.hirano-tec.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 三浦 日出男 (TEL) 0745 (57) 0681
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 定安 一男 配当支払開始予定日 ー
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	1,218	△57.3	△201	—	△170	—	△150	—
22年3月期第1四半期	2,852	△27.6	274	△24.8	287	△25.0	199	△15.3

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	△9	99	—	—
22年3月期第1四半期	13	26	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	21,693	15,511	15,511	71.5	1,030	72		
22年3月期	21,349	15,815	15,815	74.1	1,050	88		

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 15,511百万円 22年3月期 15,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—		6	00	6	00
23年3月期	—		—		—	
23年3月期(予想)	—		5	00	5	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	6,000	△1.2	90	△86.9	100	△85.7	65	△85.6	4	32
通期	14,000	0.1	580	△25.6	600	△26.6	380	△33.0	25	25

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 4「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	15,394,379株	22年3月期	15,394,379株
23年3月期1Q	345,004株	22年3月期	344,754株
23年3月期1Q	15,049,500株	22年3月期1Q	15,053,013株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、上記業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の2ページから3ページの「1.当四半期の連結業績等に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、中国・アジア等を中心とした海外経済の改善に伴う輸出及び生産に牽引され、緩やかな回復基調にあるものの、欧米での金融財政懸念に加え国内において雇用情勢の改善が見えないことや個人消費の頭打ち、また景気減退懸念など依然として厳しい状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、前期に引き続き環境エネルギー分野及び電気電子部材関連に注力し、高精度薄膜塗工機の拡販に努めてまいりました。

しかしながら、前期の受注環境の落ち込みが厳しく安定的な売上高を確保することが出来ずに低調に推移しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,218百万円（前年同期比57.3%減）となり、利益面では経常損失は170百万円（前年同四半期は経常利益287百万円）、四半期純損失は150百万円（前年同四半期は四半期純利益199百万円）となりました。

受注残高につきましては、海外を中心とした新規設備投資計画が堅調であったため、13,963百万円（前期末比75.1%増）、うち国内は5,827百万円（前期末比14.2%増）、輸出は8,136百万円（前期末比183.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間より、セグメント情報等の開示に関する会計基準を適用しているため、前年同四半期会計期間との比較も適用後の金額に基づいて行っております。

（塗工機関連機器部門）

当部門は、液晶表示用機能フィルム製造装置関連を中心に低調ながらも推移いたしました。

その結果、売上高は815百万円（前年同期比60.0%減）、うち国内売上高367百万円（前年同期比64.1%減）、輸出売上高447百万円（前年同期比55.7%減）となりました。また、セグメント利益は48百万円（前年同期比81.1%減）となりました。

受注残高につきましては、6,671百万円（前期末比56.4%増）、うち国内は2,140百万円（前期末比4.2%増）、輸出は4,531百万円（前期末比104.8%増）となりました。

（化工機関連機器部門）

当部門は、主力の電気・電子部門向成膜装置など全般的に低調に推移いたしました。

その結果、売上高は、242百万円（前年同期比64.5%減）、うち国内売上高229百万円（前年同期比56.7%減）、輸出売上高は12百万円（前年同期比91.6%減）となりました。また、セグメント損失は78百万円（前年同四半期はセグメント利益185百万円）となりました。

受注残高につきましては、7,143百万円（前期末比100.2%増）、うち国内は3,558百万円（前期末比21.4%増）、輸出は3,585百万円（前期末比463.8%増）となりました。

（その他）

当部門は、染色整理機械装置、各種機器の部品の製造及び修理・改造等を行っております。

売上高は160百万円（前年同期比19.7%増）となり、うち国内売上高131百万円（前年同期比20.8%増）、輸出売上高は28百万円（前年同期比15.0%増）となりました。また、セグメント利益は27百万円（前年同期比30.8%増）となりました。

受注残高につきましては、148百万円（前期末比7.7%増）、うち国内は128百万円、輸出は20百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べ438百万円増加し17,566百万円となりました。その主な要因は受取手形及び売掛金が1,299百万円減少しましたが、仕掛品が1,883百万円増加したことによります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ95百万円減少し4,126百万円となりました。その主な要因は、有価証券の時価評価により投資有価証券が105百万円減少したことによります。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べ722百万円増加し5,034百万円となりました。その主な要因は支払手形及び買掛金が234百万円、短期資金調達により短期借入金が200百万円、また前受金が319百万円それぞれ増加したことによります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ75百万円減少し1,146百万円となりました。その主な要因は、借入金の約定弁済により長期借入金65百万円減少したことによります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ303百万円減少し、15,511百万円となりました。その主な要因は、前連結会計年度に係る期末配当金を90百万円支払ったこと、その他有価証券評価差額金が62百万円減少したこと、また四半期純損失を150百万円計上したことによります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末よりも419百万円減少し、9,925百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって支出したキャッシュ・フローは0百万円（前年同期は87百万円の収入）となりました。主な要因は売上債権が1,618百万円減少し、たな卸資産が1,882百万円増加したこと、また仕入債務が229百万円増加したことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用されたキャッシュ・フローは前年同期比303百万円増加し411百万円となりました。これは主に定期預金を301百万円預け入れたこと及び、105百万円の有形固定資産の取得による支出を行ったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用されたキャッシュ・フローは前年同期比50百万円減少し7百万円となりました。これは主に、短期借入金200百万円が純額で増加した一方、長期借入金の約定弁済を122百万円行ったこと、また、配当金の支払を84百万円行ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

また、当社が販売する塗工機関連機器及び化工機関連機器等は受注生産であり、顧客の指定納期や発注時期も様々であります。よって各四半期において売上高及び受注高が同水準とならない場合があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ327千円、税金等調整前四半期純利益は、12,367千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は22,173千円であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,075,492	6,630,436
受取手形及び売掛金	3,184,500	4,484,245
有価証券	3,630,603	4,195,058
仕掛品	3,190,230	1,307,080
原材料及び貯蔵品	91,722	92,742
その他	395,844	424,301
貸倒引当金	△1,894	△6,046
流動資産合計	17,566,499	17,127,819
固定資産		
有形固定資産	2,860,781	2,861,127
無形固定資産	175,253	189,534
投資その他の資産		
投資有価証券	707,611	813,527
その他	390,937	365,953
貸倒引当金	△7,993	△7,993
投資その他の資産合計	1,090,555	1,171,487
固定資産合計	4,126,590	4,222,149
資産合計	21,693,089	21,349,969

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,037,345	2,802,437
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	340,036	397,696
未払法人税等	1,126	12,891
前受金	825,679	506,584
賞与引当金	58,206	173,812
製品保証引当金	15,500	19,900
その他	556,624	399,003
流動負債合計	5,034,518	4,312,324
固定負債		
長期借入金	244,496	309,620
退職給付引当金	732,225	763,188
役員退職慰労引当金	144,402	146,000
資産除去債務	22,294	—
その他	3,441	3,487
固定負債合計	1,146,860	1,222,295
負債合計	6,181,378	5,534,620
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,847,821	1,847,821
資本剰余金	1,339,722	1,339,722
利益剰余金	12,609,289	12,849,929
自己株式	△403,041	△402,783
株主資本合計	15,393,792	15,634,689
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	117,919	180,659
評価・換算差額等合計	117,919	180,659
純資産合計	15,511,711	15,815,349
負債純資産合計	21,693,089	21,349,969

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	2,852,726	1,218,099
売上原価	2,195,217	1,026,575
売上総利益	657,509	191,523
販売費及び一般管理費	383,383	393,290
営業利益又は営業損失(△)	274,125	△201,766
営業外収益		
受取利息	2,146	1,901
受取配当金	10,878	11,028
受取保険金	—	12,070
その他	6,307	10,241
営業外収益合計	19,333	35,240
営業外費用		
支払利息	4,601	3,138
その他	1,024	1,186
営業外費用合計	5,626	4,325
経常利益又は経常損失(△)	287,833	△170,851
特別利益		
貸倒引当金戻入額	227	4,301
特別利益合計	227	4,301
特別損失		
投資有価証券評価損	—	3,420
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	12,039
特別損失合計	—	15,460
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	288,060	△182,011
法人税、住民税及び事業税	123,602	963
法人税等調整額	△35,080	△32,632
法人税等合計	88,522	△31,669
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△150,341
四半期純利益又は四半期純損失(△)	199,537	△150,341

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	288,060	△182,011
減価償却費	96,606	98,190
賞与引当金の増減額(△は減少)	△105,665	△115,605
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△227	△4,152
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,778	△30,962
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△18,024	△1,597
製品保証引当金の増減額(△は減少)	1,200	△4,400
受取利息及び受取配当金	△13,025	△12,929
支払利息	4,601	3,138
固定資産売却損益(△は益)	△130	△162
売上債権の増減額(△は増加)	1,357,874	1,618,840
たな卸資産の増減額(△は増加)	109,855	△1,882,129
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,148,896	229,881
その他	39,410	162,269
小計	609,862	△121,629
利息及び配当金の受取額	13,024	14,187
利息の支払額	△4,601	△3,138
法人税等の支払額	△531,224	△4,926
法人税等の還付額	—	115,268
営業活動によるキャッシュ・フロー	87,060	△238
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△301,000
定期預金の払戻による収入	—	1,000
有形固定資産の取得による支出	△100,445	△105,609
有形固定資産の売却による収入	250	250
無形固定資産の取得による支出	△900	△5,200
投資有価証券の取得による支出	△600	△900
その他	△6,645	△60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△108,340	△411,520
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△119,184	△122,784
自己株式の取得による支出	△1,486	△257
配当金の支払額	△136,998	△84,069
その他	△222	△528
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,891	△7,639
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△79,171	△419,398
現金及び現金同等物の期首残高	8,533,727	10,344,494
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,454,556	9,925,096

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	塗工機関連 機器 (千円)	化工機関連 機器 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,036,584	682,392	133,750	2,852,726	—	2,852,726
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	2,036,584	682,392	133,750	2,852,726	(—)	2,852,726
営業利益	151,974	110,318	11,833	274,125	(—)	274,125

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品

(1) 塗工機関連機器

各種コーティング、ラミネーティング装置並びにこれらに付随する乾燥熱処理装置及びライン制御装置

(2) 化工機関連機器

各種成膜装置、不織布・高機能繊維製造装置、フラットパネル塗布乾燥装置、真空蒸着装置並びにこれらに付随する乾燥・熱処理装置及びライン制御装置

(3) その他

染色整理機械装置、各種機器の部品の製造及び修理・改造等

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

在外連結子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	東アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高 (千円)	893,637	286,520	7,959	1,188,116
II 連結売上高 (千円)	—	—	—	2,852,726
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	31.3	10.0	0.3	41.6

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

(国又は地域の区分の変更)

従来、北米は「その他の地域」に含めておりましたが、当第1四半期連結会計期間において、当該地域の売上高が連結売上高の10%を超えたため、「北米」として区分掲記しております。なお、前第1四半期連結累計期間における北米の海外売上高は9,559千円であります。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 東アジア……台湾・韓国・中国

(2) 北米……アメリカ

(3) その他の地域……マレーシア

3 海外売上高は、連結財務諸表提出会社及び連結子会社の輸出高の合計額であります。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別に国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は、製品・サービス別セグメントから構成されており、「塗工機関連機器」、「化工機関連機器」及び「その他」の3つを報告セグメントとしております。

「塗工機関連機器」は各種コーティング、ラミネーティング装置並びにこれらに付随する乾燥熱処理装置及びライン制御装置の製造販売をしております。「化工機関連機器」は各種成膜装置、不織布・高機能繊維製造装置、フラットパネル塗布乾燥装置、並びにこれらに付随する乾燥・熱処理装置及びライン制御装置の製造販売をしております。「その他」は染色整理機械装置、各種機器の部品の製造及び修理・改造等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	塗工機関連機器	化工機関連機器	その他	
売上高				
外部顧客への売上高	815,433	242,582	160,084	1,218,099
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	815,433	242,582	160,084	1,218,099
セグメント利益又はセグメント損失(△)	48,153	△78,924	27,838	△2,933

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△2,933
全社費用(注)	△198,833
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△201,766

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第1四半期連結会計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高（千円）	前年同四半期比（%）
塗工機関連機器	686,854	△59.2
化工機関連機器	235,176	△43.5
その他	104,545	12.1
合計	1,026,575	△53.2

- (注) 1 金額は生産原価で、上記の内には外注生産によるものを含んでおります。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第1四半期連結会計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高（千円）	受注残高（千円）
塗工機関連機器	3,220,368	6,671,386
化工機関連機器	3,818,122	7,143,656
その他	170,684	148,600
合計	7,209,174	13,963,642

- (注) 1 金額は販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第1四半期連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高（千円）
塗工機関連機器	815,433
化工機関連機器	242,582
その他	160,084
合計	1,218,099

- (注) 1 金額は販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。